



機械科生徒が「次世代エネルギー（水素、メタンハイドレート） に係わる新潟県の取組について」講義を受けました。

平成30年8月23日（木）24日（金）に4回にわたって「次世代エネルギー（水素、メタンハイドレート）に係わる新潟県の取組について」について、新潟県産業労働観光部産業振興課新エネルギー開発室様より、政策企画員 梁川克史様と主査 渡辺朗礼様を派遣いただき講義をしていただきました。



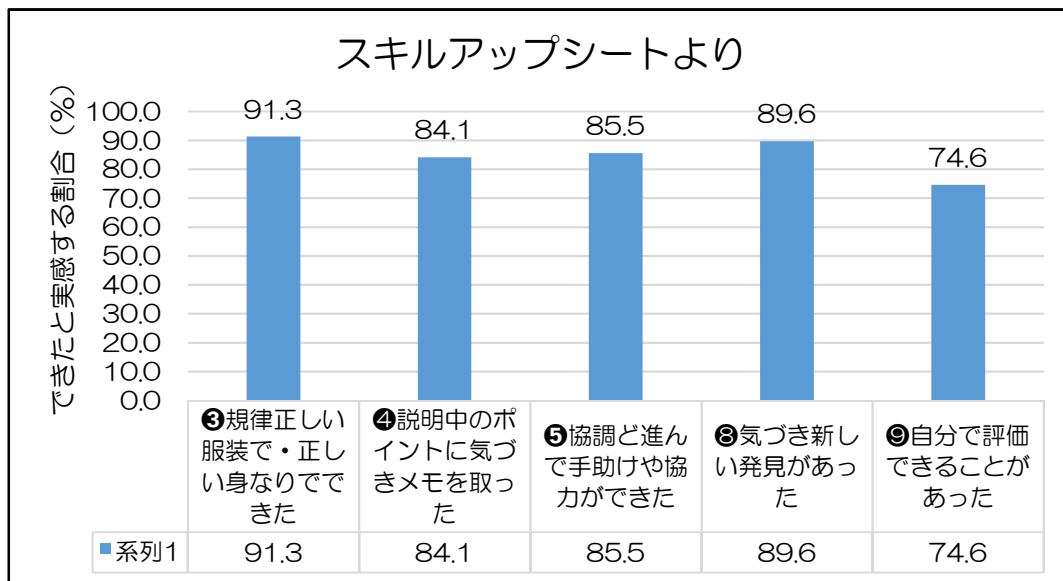
講義風景



水素自動車模型実演



講義風景



【スキルアップシートより】

- ・ 燃料電池自動車は1台で一般家庭7日分の電力を供給できる。CO₂削減には良いがインフラ数が少ない。
- ・ 燃料電池車が普及すれば環境破壊が少なくなると思うが、コストが高いので難しいと思う。
- ・ 難しかったけどグラフなどがとてもわかりやすかったです。日本の次世代エネルギーのことをしれて良かったです。
- ・ メタンハイドレートという今まで知らなかった資源がどういうものなのかわかった。
- ・ 実演を交えた水素のつくり方がとてもわかりやすかった。
- ・ 今後メインになっていくエネルギー源について興味を持つことができた。
- ・ メタンハイドレートを地中から採る技術が難しいことがわかった。
- ・ この講義を聴いて今後のエネルギー問題について気になりました。
- ・ メタンハイドレートを蟹が食べているということに驚いた。
- ・ エネルギー自給率について理解できた。